

# 病気で入院した場合

## すぐに仕事をやめないで!

病気の発症は青天の霹靂です。そして、病気で入院すると仕事をやめて治療に専念したいという思いにかられてしまいがちです。しかし、一度仕事をやめたら再就職することは容易ではありません。まずは、病気や治療についての理解を深め、職場に報告・相談しましょう。

入院直後	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 休暇について職場に確認・相談</li><li>・ 病名を伝える関係者の確認</li></ul>
退院前	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 治療や状態を踏まえた療養見通し</li><li>・ 復職までのスケジュール検討</li></ul>
復職前	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 復職に向けた段取りを確認</li><li>・ 業務量や勤務時間の相談</li></ul>
復職後	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 業務量や勤務時間の相談</li><li>・ 身体やメンタル面について報告</li></ul>

### 報告・相談の時期と内容

理学療法士は、運動療法によって身体機能を回復させ、疾患や身体機能を詳細に把握し、個々の仕事や能力に応じた業務遂行の可否について助言できる専門家です。医療機関等で勤務している身近な理学療法士にぜひご相談ください。

産業保健総合支援センターやハローワークなどでも専門の相談員が配置されており、調整支援などが行われております。さらに詳しい内容を知りたい方はQRコード (<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>) をご覧ください。

